

統計研修講義計画書

研修課程	地域分析	講義科目	地域世帯推計	講義時間	2コマ
講師	大江 守之 放送大学客員教授				

※1コマ70分

講義のねらい

基本的なねらいは「地域分析と地域人口推計の基礎」と同様である。本講義では、自治体ではあまり扱ってこなかった「世帯」が居住単位・家計単位として重要であること、近年、世帯の姿が大きく変化しており、また将来も変化することへの認識を深める。世帯の変化を把握する上で、世帯主率という測度が重要であり、人口構造と世帯主率の変化の双方が影響して世帯の変化が起きていることを理解する。また、世帯推計の方法として最も一般的な世帯主率法について解説し、その推計精度を上げるためにどのように家族類型別世帯主率を設定するかを学ぶ。

指導項目と内容

指導項目	内 容
世帯の基本的理解	世帯に関する基本的知識を学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 世帯の分類 ・ 家族類型別世帯数の動向と将来 ・ 世帯主率とその変化 ・ 人口構造と世帯主率の変化による世帯数の変化 ・ 世帯主率のコーホート変換
家族類型別世帯推計の方法	世帯主率法を講師が提供するエクセルで作成した演習を通して理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 世帯主率の計算とグラフ化 ・ コーホート変換の方法 ・ コーホートの追跡による将来世帯主率の設定 ・ 国立社会保障・人口問題研究所による都道府県別世帯数推計結果との比較

講義形態 指導方法	講義、演習
受講に必要な 基礎知識等	エクセルの操作